

6 マリアンヌ ～民衆を導く女神の正体～ Marianne ～the identity of the goddess who guides people～

Abstract

Why is Marianne an original female character? The answer to this question has yet to be found in previous research. We think that the contrast with Hercules and rationalism in the French Revolution are related to the answer.

1. 目的

フランス革命期に自由の象徴として生み出されたマリアンヌについて、これまでの先行研究において明確にされてこなかった「自由の象徴を女性で表現した理由」「モデルがないオリジナルの存在である必要性」の二点について考察することで、マリアンヌを新たな視点で捉え直す。

2. 調査・研究の方法

マリアンヌについての論文や当時の女性像について言及している論文から独自の仮説を立てその根拠を、文献資料を用いて検討した。

3. 分析と考察

絶対王政の時代には男性（ヘラクレス）が国王を象徴していたため、革命によって王政とは対照的な時代が来たということを強調するには、「共和政＝女性」というイメージが必要であり、ここにマリアンヌが女性である意義が存在すると考えられる。また、オリジナルであることは理性の崇拜によって神を否定する考えを提唱していたエベールが国民公会のジャコバン派独裁政権の一員であったことが関連していると考えられる。もしマリアンヌがオリジナルでなかったら、元にしたキャラクターには人それぞれの先入観が付きまとうはずだ。よって、マリアンヌが現在まで否定的なイメージに囚われることなくフランスの象徴として愛されてきたのは、オリジナルな女性であったからこそだと言える。

4. 主要参考文献

浜忠雄(2019).「マリアンヌの表象」.『北海学園大学人文論集』.(67). 67-106.

ハント,リン.松浦義弘(翻訳).(2020).『フランス革命の政治文化』.筑摩書房.

アギュロン,モーリス.阿河雄二郎ほか(翻訳).(1989).『フランス共和国の肖像－闘うマリアンヌ 1789～1880』.ミネルヴァ書房.